



地域の声を県政につなぐ  
『何かニュースはありませんか?』  
意見・提案なんでもお知らせください。

静岡県議会議員  
自民改革会議一期会

いっわかい  
五輪会



おち あい しん ご  
落合慎悟

静岡県議会報告  
平成22年11月25日号(年4回発行)

厚生委員会 県外視察 10/19~21 長崎県・福岡県



父母の会の皆さん 支援学校内の学童クラブ 障がい児たちの様子  
玄関前にドクターヘリ場 電子カルテ連携医療 離島病院との医療連携  
医療介護施設かめやま 健やかな療養生活 在宅復帰をめざし訓練  
牛の下見室 品質検査で格付け作業 セリ会場

大村市障がい児学童保育「元気っ子学童クラブ」

父母の会の代表の皆さんから設立の経過や運営課題について伺った。地域の放課後学童クラブでは重度の障がい児を受け入れる環境が整っていない。元気っ子学童クラブは保護者からの陳情で平成13年に運営され、14年に養護学校移転とともに校内に開設された。現在NPOを立上げ運営の準備している。17年には国のモデル事業として大村市福祉センターに中学・高校生にも拡大し、開設されている。

国立長崎医療センター

佐世海軍病院大村病舎として昭和17年に創設後、国立長崎中央病院、平成16年に改築され現名称となる。18年からドクターヘリを運用開始した。643床、常勤医116人非常勤医35人研修医44人で診療圏27万+離島15万人紹介率82%、電子化を推進、富士通の電子カルテあじさいネットで他社の電子カルテも閲覧可能。カルテを患者に公開している。離島に行く医師も養成。経常収支107%で建築借金年間25億円返済。研修医希望が多く採用率50%

社会医療法人栄光会 医療介護施設かめやまと栄光病院

キリスト教の精神に基づき、癒し癒される病院を基本方針として日常・緊急・在宅・終末期医療に取組む。医療介護施設は平成17年、栄光病院が新築移転に伴い旧館を1階に亀山クリニック2階に介護老人保健施設3階に介護付有料老人ホームとして開設した。21年に社会医療法人として認可。地域医療に社会的使命と任務を持つ公共性の強い病院でホスピスケアや神経難病センターも病棟として備えている。

福岡市中央卸売市場食肉市場

九州地区に唯一の中央卸売市場食肉市場として昭和34年に開設され、臨海地区に平成12年開場した。最新衛生設備で安全で高品質な食肉を供給する。食肉では日本初ISO9001。生産施設の解体能力は牛120頭/日、豚600頭/日。入荷産地、牛は福岡県30%佐賀県18%宮崎11%、豚は佐賀県42%山口21%屠畜頭数の推移は年間牛は約17,000頭と変わら、豚は年々増加し114,519頭。120インチマルチ映像付のセリ機を導入し、インターネットの情報発信も充実。

過疎・中山間地振興特別委員会視察 9/6~8 鹿児島県霧島市・鹿屋市



山ヶ野金山文化財保護活用実行委員会 霧島市の山ヶ野地区の住民が、地域おこしとして平成13年に委員会を立ち上げ、金山後の復元や伝統芸能の継承、ウォーキングイベントの実施などにより、まちづくり、都市部との地域間交流をしている。  
鹿屋市柳谷集落(通称やねだん) 人口315人、電車もバスも通らない村が過疎から奇跡的な復活を果たして全国から注目を浴びる。豊重自治公民館長が住民と休耕田で作ったサツマイモの焼酎が大ヒット。収益金を住民に還元。アーティスト限定移住者を迎え、活気が出た。  
串良農産物直売施設「緑の停車場」 串良町4地区の生きがい対策・地域活性化を目的に平成13年に開店、順調に運営されている。  
鹿児島県の過疎・中山間地域の振興策 鹿児島県の過疎地域対策を取り組み調査した。

議会運営委員会視察



埼玉県と神奈川県議会議事局から説明。 議会運営について 委員定数、開催日や時刻、欠席議員の扱い、委員会の県外調査と執行部の出席者、委員会の公開など。 政策立案機能の強化 議員提案政策条例とこれまでの実績、制定までの流れ、事務局職員をサポート体制。 監視機能の強化 予算特別委員会、基本計画の議決について 議会基本条例の制定 導入の経緯・目的、条例検討委員会の人数・構成、効果と課題、知事等の反問の状況、会期の見直し経緯

五輪会視察 10/13茨城県筑波宇宙センター



つくば市にあるJAXA宇宙航空研究開発機構「筑波宇宙センター」筑波研究学園都市内に1972年開設。平成15年独立行政法人として宇宙3機関を統合。本社調布市、職員数1571名、予算額1800億円。事業概要 ロケットの研究・開発、宇宙学研究、航空技術研究。H-2Aロケットは18機中17機成功、H-2B試験機打上成功、固体ロケット開発準備中。蓄積されたノウハウでレベルの高い宇宙開発を目指す。

10/14さいたま桜高等学校



埼玉県立特別支援学校の桜高等学校は平成19年開設。軽度の知的障がい者の職業訓練に特化している。小学4年程度の入学試験を実施。1学年80人定員、233名在籍。生産技術科・家政技術科・工業技術科・環境サービス科があり、各学科20人定員2コース構成。専門科目授業は週15時間。クラブ活動は全員加入。全ての生徒に「わかる・できる」授業づくり推進。卒業生はスーパー、小売、清掃、福祉などにほとんど就職できている。

「日本で唯一」葉梨地区みかん44年間の輸出取組み、米国担当官による対米輸出みかん防疫検査



対米みかん栽培標識 みかんの状況 みかんの積み込み JA大井川葉梨共振場 米国人検査官による検査 植物防疫官による検査  
自動コンテナ計量機 みかんの選別チェック 自動化された装置 糖度なども自動計測 ロボットによる箱詰め 出荷を待つトラック  
日本で対米向けみかんを輸出しているのは葉梨地区だけです。そのため国や県がその火を消さないように見守ってくれますが、円高や米国のみかん単価の下落、農家の高齢化などで先行きが危ぶまれています。今年初めに松葉組長からお話を伺い、3月5日と7月15日の県議会で取り上げました。輸出用みかんは藤枝市葉梨の奥地、上大沢地区の山の頂上付近で栽培されています。潰瘍病や害虫などの防疫のため、近くにキンカンなど柑橘類が無いことが条件であり、栽培には細心の注意を払っています。また山の斜面にミカンの木が植えられていて作業は大変な作業です。11月中旬に清水港から船便で輸出し、クリスマス需要に間に合わせるようになっています。輸出のため手続経費が掛かり、農家への支払単価は青島みかんで昨年、1キロ当たり対米で67円、ニュージーランドで155円、タイで179円と対米は以前に比べ非常に安くなっています。藤枝が誇れる輸出みかんです。日本の農作物は安心安全で世界各国に高値で買われています。県知事も輸出に力を入れています。応援してください。

各種データ

22年度一般会計歳出額	11,265億円	20年度一般会計歳出額	11,298億円	変わらず
22年度予算 県税収入	3,700億円	20年度予算 県税収入	5,750億円	35.7%減少
22年度健康福祉部予算	1,853億円	20年度予算 厚生部予算	1,513億円	22.5%増加

21年度末の静岡県状況

生活保護の状況 24,000人 18,000世帯  
特別養護老人ホーム入所希望実数 10,219人 藤枝市358人 年々増加  
児童虐待21年度相談件数 1107件 一時保護に398人  
DV相談件数 2317件 一時保護110人  
障がいのある人の状況 184,549人 約4千人増加  
身体障がい者 123,321人 知的障がい者 23,973人 精神障がい者 37,255人  
障害者働く幸せ創出センター 工賃月平均3万円目標 12,562円  
自殺者 30,649人 県内800人 自殺予防と自殺遺族の心のケア  
志太藤原保健医療圏内の状況  
13の病院と310の一般診療所がある。人口10万人当たりの病床数は一般396床、療養215床 医師数640人、人口10万人当たり135人で、全国平均の212.9人、県平均は176.4人です。

東名焼津吉田間スマートインターチェンジ

焼津市上新田地区に昨年5月に決定し、基本設計や地元説明会も終了している。国の申請受けを待っている状況。民主党政権になって高速道路の方針が決まらない様子。



11/18県道焼津森線の整備要望



焼津森線は東名焼津IC取付から岡部村良、北方、瀬戸谷中山、滝沢から島田に抜ける道で村良下橋改築・入野~北方道路拡幅・桶沢橋~大出橋道路拡幅・山鼻橋改築・昭和橋~島田境拡幅を要望。

最近依頼された地元道路河川等の整備要望と改修箇所



善左衛門停車場線の促進 上青島焼津線の歩道要望 伊久美線上敷田路盤凹み  
高田町内照明灯根元腐食 鬼島折戸橋橋脚補強要望 瀬田団地駐輪場不足  
焼津岡部線舗装路盤凹み 善左衛門交差点墓地問題 岡山交差点歩道完成

藤枝市内県道河川 11月決定、追加実施箇所

路線河川等箇所名称	大字名	工事(事業概要)	事業費(千円)
(主)藤枝黒俣線	瀬戸ノ谷	落石対策工	5,000
(主)焼津森線	下当間	道路拡幅	148,667
(主)焼津森線	滝沢	道路拡幅	70,000
(一)上青島焼津線	上青島	歩道工	8,000
二級河川瀬戸川	子持坂	掘削護岸工	10,000
滝沢北開戸	滝沢	擁壁校	15,000
(都)岡部中央幹線	内谷	道路改良	40,000
大新島	大新島	用排水路30m	11,760
内瀬戸2	内瀬戸	排水路施設1箇所	1,500